

## モニタリング調査結果

種名 : キツネノカミソリ

調査者 : 境川の道正山河畔林を守る会

調査地 : 上鶴間本町

調査期間	気づいたこと
2018年2月～ 2018年12月31日	2月23日3cm位の葉の芽吹き有り。ヒガンバナと本種（キツネノカミソリ）は葉が先（？）に出て枯れてから花芽がニューとでるのである。葉は光合成をする為であるようだ。4月に入り33cm位に生育する。5月に入り葉は根元から朽ち倒れ始める。7月25日芽吹きニューと蕾を付けたままです。そのまま開花し順に花弁を落下させ3つの緑色の実をつけたまま根元より倒れる。囲いの外に3本2本と本種が開花しているのを確認。11月12月は何も確認されず。
2019年1月～ 2019年12月31日	2月18日葉の芽吹き有り。囲いの中だけでなく土手にも4株位確認。4月になり葉のみの群落になる。5月になり光合成の終わった葉が根元より倒れ始める。6月は何も無し。7月初めに開花の為の準備の除草をする。7月18日芽吹き有り。ヒユウ と茎が伸び3つの蕾が水平に広がる8月2日51本開花。32本花弁落下。9月入り根元よりたおれ始めた。緑色の実をつけて倒れているもの。赤い実になり倒れているもの。茎に対して実は重いようです。10月すべて根元より倒れた。キツネノカミソリは咲いた状態で蕾は3方に向い倒れる。11月何も無し12月も無し。